2018年6月
積水化学工業株式会社
東日本支店

水道配水用ポリエチレン管 通水（水圧）試験までの放置時間短縮について

2018年度より、ポリエチレン管の融着・冷却の完了後、「通水(水圧)試験」までの待ち時間が改訂となりました。

ただし、配水用ポリエチレンパイプシステム協会(POLITEC)の基準は、協会メンバー共通のものです。
メーカー基準は別途ありますので、当社品につきましては当社基準を適用いただいて構いません。
以下、内容をご確認ください。

■POLITEC基準　　※ 0.75MPa以下の水圧試験時

呼び径	50	75	100	150	200
放置時間	20分		30分	45分	60分
	変更			変更	

0.75MPaを超える水圧試験は、「1時間以上」経過した後に行ってください。

■積水化学基準

★本管(ハイパーＪＷ)　　※ 0.75MPa以下の水圧試験時

呼び径	50	75	100	150	200
放置時間	20分		30分 ※1		
	変更				

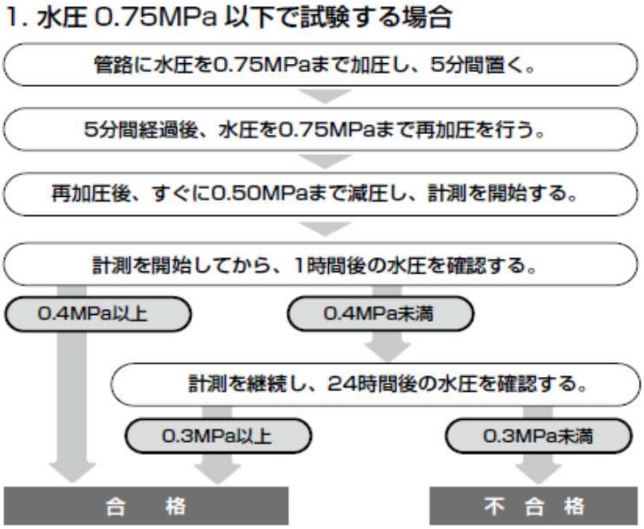
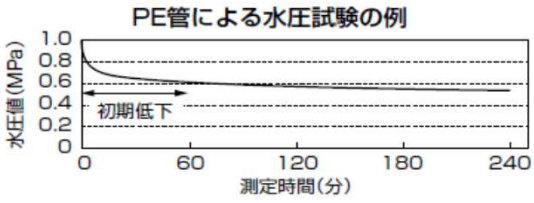
※1 当社製品は待ち時間で優位です

0.75MPaを超える水圧試験は、「1時間以上」経過した後に行ってください。

★給水管(ハイパーAW)　　※ 1.75MPa以下×10分以下の水圧試験時

呼び径	20	25	30	40	50・サドル
放置時間	10分	15分	30分 ※2		

※2 さらに改善の予定

・水圧試験0.75MPa以下の場合、φ30～50、サドルは上段のJWと同様、20分とする。
・ポリエチレン1種2層管は、直射日光で管の温度が上昇することにより、耐水圧強度が著しく低下し、通常の水圧値でも破損することがあります。管の温度が高くなっている場合(40℃以上)は、低圧通水を続けて管を冷却した後、水圧試験を実施してください。

【参考 水圧試験方法】